

FAX 通信

2026年1月1日発行 No.04-037 From KOTANI

ホームページ <http://www.kotanikk.com>

新シール概論 (3) 8.3 ゴム (シール) 製品の保管条件

前回紹介した ISO2230 について要点のみ記述します。

まず、多種にわたるゴムについてグループに分類しています。

1) ゴムのグループ

グループ A には次のゴムが該当します。
BR, NR, IR, SBR, AU, EU

グループ B には次のゴムが該当します。
NBR, NBR/PVC, XNBR, HNBR, CO, ECO
ACM, CR, IIR, BIIR, CIIR

グループ C には次のゴムが該当します。
CM, CSM, EPM, EPDM, FKM, FMQ, PMQ,
PVMQ, MQ, VMQ

なお、ゴムの記号は ISO に規定されていますゴムの略号です。

この規格は ISO1629 で JIS では JISK6397 に該当します。

規格の名称は原料ゴム及びラテックスの略号です。

2) ゴムの貯蔵条件は以前に紹介した内容とほぼ同じです。

3) ゴムの貯蔵期間について

次の内容になります。

グループ	初期貯蔵期間	延長貯蔵期間
A	5年	2年
B	7年	3年
C	10年	5年

・初期貯蔵期間

製品が製造された直後からの最大貯蔵期間で、この期間中ゴム製品は、検査あるいは再テストされるまでの間、適切に包装され規定された条件下で貯蔵してよい。

・延長貯蔵期間

適切に包装されたゴム製品が、初期貯蔵期間の後、さらに検査や再試験が必要となるまでの貯蔵期間。

・貯蔵寿命

ゴム製品が適切に包装され、それ以上貯蔵すれば製品としての用をなさなくなる

と考えられるまでの最大期間。

注) ゴム製品の貯蔵寿命はその成分と同様、その形・サイズによって影響を受ける。一般的に厚い製品は薄い製品よりも劣化による変化が遅い。

注) もし、貯蔵温度が 25°C を超えているか、それより低ければ貯蔵期間に影響する。10°C 高いと貯蔵期間は半分となり、10°C 低ければ貯蔵期間は約 2 倍伸びる。

最後の注意に注目してほしいのは、ゴムは温度の影響が大きく、アレニュウスの法則が生きていることになります。

以上により、ある程度明確になったのは、ゴムの貯蔵条件を守れば、通常の一般ゴムは最低 5 年の貯蔵が可能であることです。

この規格は JIS 規格に採用するべきものとして、検討されている状況ですが、現在はまだ JIS 化されていないのは残念です。

しかし、案外現状に合っているとの感覚があるので、皆様も認識してほしいものです。

(続く)

取扱い製品について

NK リング : ふつ素ゴムをふつ素樹脂で被覆した画期的な O リング

コードリング : 英国 NES 社の誇るふつ素ゴムつなぎ O リング

TESNIT : スロベニア DONIT TESNIT 社製の高品質ジョイントシート

その他の各種シール製品

以上の詳細はホームページに記載していますので、是非ご覧ください。カタログや技術資料は、ご要求がございました下記の本社宛にご一報ください。

コタニ株式会社

本社 : 神戸市中央区浜辺通 2-1-30

TEL:078-251-5300 FAX: 078-251-5307

FAX 通信の記事についてのご意見や質問がございましたら下記の担当者に連絡ください。(担当 : 根本)